

## 社会福祉法人 育和会

### 『いたずら大好き』

『ことばの花びら』という本にこんな一文があります。

“いたずらっ子であることは子どもの権利である”

『荒井 洸 著 ことばの花びらより抜粋』

子どもは“いたずら”が大好き。触って欲しくないものを触ったり、色々な所を荒らしたり、大人からすると困った行動かもしれませんが、子どもにとって“いたずら”は、「あれは、何だろう」「何が入っているのかな」など、好奇心に基づく“探索活動”の一つなのです。

1、2歳児の子ども達と一緒に過ごす中で、色々な場面で子ども達のいたずらを目にします。子ども達は、いたずらを通して、保育教諭の反応を見て楽しんだり、「おー!!」と新たな発見を喜んだり、自ら学ぼうとしています。

子どものいたずらを「ダメよ」の一言で終わらすのではなく、子ども達が「面白い!!」「不思議だな」など色々な発見が楽しめるように、これからもしっかり寄り添い見守っていきたいと思います。

(久万こども園 保育教諭 脇川 ひかる)



### 『バースデイランチ』

おひさま保育園では、子どもたちのお誕生月に保護者のみなさんを招きバースデイランチを行っています。今年は新型コロナウイルス感染拡大により開催を見合わせていましたが、感染予防に努め7月より再開することができました。スタッフがお誕生日の歌を歌い、カードをプレゼントして 親子でランチを囲みながら、素敵な時間を過ごしてもらっています。手作りのささやかな時間ですが、子どもを囲んでみんなが笑顔でお祝いしている姿に子どもたちも自分を大切に思ってくれる人がそばにいてくれることを嬉しいと感じていると思います。バースデイランチは、そんな家族の大切なイベントになってくれたらと願っています。(おひさま保育園 主任 鈴木 奈帆)



『お誕生日おめでとう!!』

## 久万こども園(幼保連携型認定こども園)

### 『楽しく覚える♪』

さくらんぼグループ(2歳児)では、4月から国旗の絵本を見たり、きらきら星のメロディーに合わせて国旗の名前の替え歌を歌ったりして、世界の国旗と触れ合う時間を作っています。

カラフルでインパクトのある絵柄、普段耳にしない言葉の響きに、子ども達は興味津々! 歌い始めた時は全然国旗の名前を知らなかった子ども達ですが、1か月、2か月と繰り返し歌を歌っていくうちに、自然と「にっぽん、ぱきすたん♪」と口ずさんだり、国旗の絵本を見て国名がスラスラでてるようになりました。

来年は東京オリンピックが開催され、テレビなどで様々な国旗を目にする場面が多くなると思います。そんな時、「これ、知ってる!」と子ども達が世界に興味を持つきっかけになるよう、これからも楽しく国旗に触れていきたいと思っています。

(保育教諭 渡邊 春香)



『子どもたちに人気です!』



『好きな国が出てくると子どもたちは大喜びです!』

## NIKO NIKO 館(児童館)

### 『おかしやさんTAKE OUT』

子どもたちが待ちに待っていたおかしやさんが7月からようやくオープンしました。新型コロナウイルス感染防止対策として、密集を防ぐため、いつもの玄関ロビー

ではなく、ひだまりの部屋で1回入室できる人数を5人までに制限したり、換気、消毒を徹底して行っています。

現在、一般来館で利用される方は、テイクアウトのみとさせていただいています。たくさん並ぶお菓子を前に真剣なまなざしでにらめっこしながら「今日はどのお菓子を買おうかな?」と悩んでいる様子の子もたちの姿が見られています。



『カラフルなお菓子がたくさん!』



『おれにしようかな?』



『のれんが出れば開店します!』

(児童厚生員 渡部 梨香)

## 放課後子ども教室 【学校・家庭・地域連携推進事業】

### 活動報告『登録クラブ体験』

7月より登録クラブの体験教室を開始しました。興味のあるクラブ活動を誰でも気軽にお試し出来るとあって、初めて参加する児童の姿も見られました。時間を短縮で行ったため、「もっとしたい」「次も参加したい」という声が上がりました。

10月からは本格的に登録クラブを開始予定ですので、お楽しみに♪



『Cookドゥドル』



『こっこんコットン』



『パワーキッズ』



『フラダンス』

## NIKO NIKO クラブ(学童保育)

### 『キャラクターをさがせ』

不定期で開催している「キャラクターをさがせ！」子どもたちが楽しみにしているゲームの1つです。室内に10コのキャラクターが隠れてあり、それを見つけるという単純なゲームです。10コ全部みつけると1枚シールがもらえ、シールを10枚ためるとおかしやさんで使える

特別な10円券がもらえます。隠れているキャラクターは、10色のくまモンや、妖怪だったり様々です。今、子どもたちに一番人気なのは「鬼滅の刃」のキャラクターで「かわいい」「かっこいい」と友達と喋りながら協力して探しています。



『キャラクターの名前を書いています。』



『こんなところに発見』



『これが隠れているよ』

(放課後児童支援員 松本 明美)

## Happy House

### 『今ここ』

「家では私にベッタリなのに、ここだと離れてよく遊ぶ。何が違う？」Happy House に来たママたちからよく聞く言葉です。子どもは常に“今ここ”を生きています。大人が用事や考え事をして“今ここ”から離れてしまうと「ママは“ここ”にいない」と感じてしまうのでしょうか。ママを“ここ”に連れ戻そうと無意識にはたらく子どもなりの戦略といったところでしょうか。とは言え、家では用事に追われ“今ここ”にいられないことも少なくありません。何か思うようにできた時、その喜びを伝えたくてママの方を向くと、にっこり笑って一緒に喜んでくれる。Happy House ではそんな光景がよく見られます。ママを用事に奪われることもないから離れても安心して遊べる。子どもが感じたことを大人が受け止めて共感し、言葉や表情で返す。そうして心が育つと子どもは自由に自分を表現できるようになります。

一日わずかな時間でも大人も“今ここ”を生きることができれば、何かHappy に変わるような気がしませんか!? (保育士 國田 瑞穂)



『みて～おもしろいよ』



『ちょっとだけ手伝って～』



『ママ～ここだよ』

## 家庭教育支援 久万高原 Happy サポート

### 『野菜がすくすく育っています!』

毎年ハッピーdayの恒例行事だった野菜の苗植え。今年はコロナの影響で人の集まりが自粛されていたため、スタッフだけで植えました。5月の初めにプランターに植えたミニトマトときゅうりの小さな苗は、みるみる大きくなり、Happy House の窓から見えるようになりました。どちらも黄色い花が咲き、実をつけました。「花が咲いている。」「実がついている。大きくなったね。」と、みんなの目を楽しませてくれました。野菜はどんな状況下でもすくすく育っています。屋根まで届こうとするミニトマトに、つるを伸ばしてネットに掴まろうとするきゅうりに、たくましさや成長力を感じます。野菜作りは子育てによく似ています。手をかけ過ぎず、手間をかけ、時には待つことも大切・・・

子どもの自己成長力を信じて見守りましょう。

(子育てサポーター 今井 久美子)



『植え始めの頃の小さなお苗』



『トマトがとれたよ!』

